

2019年5月吉日

「重要文化財旧志免鉱業所堅抗櫓保存修理工事」

見学会開催のご案内

主催 一般社団法人 日本建築構造技術者協会
九州支部青年部会

拝啓 早春の候、貴社ますますのご繁栄のこととお慶び申し上げます。

現在工事進行中である、「重要文化財志免鉱業所堅抗櫓保存修理工事」の工事見学会を開催致しますのでご案内申し上げます。

下記の要領で開催いたしますので、多数の御担当者様のご参加をお待ちしております。

記

日 時: 2019年5月30日(木) 15:00~16:30

会 場: 重要文化財旧志免鉱業所(福岡県糟屋郡志免町志免 495-3)

※博多駅よりバスで30分程度(路線名:原田橋行[空港通 亀山 志免] バス停:下志免にて下車)

見学概要: 重要文化財鉄筋コンクリート造の保存事業に伴う補修技術 ※詳細は別紙参照

申込方法: 下記申込書に必要事項をご記入のうえ、FAX または E-mail でお申込み下さい。

定員: 30名(先着) ※定員に到達次第、締め切らせて頂きます。

締切日: 2019年5月24日(金)

JSCA 建築構造士更新のための評価点: 申請中 建築 CPD 情報提供制度対象講習会

※JSCA 建築構造士の方は、当日受付にて JSCA 建築構造士登録証を必ずご提示下さい。

※ヘルメットは各自ご持参をお願い致します。(安全帯はご用意が可能でしたらご持参下さいませ。)

「重要文化財旧志免鉱業所堅抗櫓保存修理工事」工事見学会申込書
(開催:株コンステック福岡支店 担当:片山・中村)
・TEL:092-482-4600 ・FAX:092-482-4602 ・E-mail:<nakamura-jun@cons-hd.co.jp>

申込区分(受講者が会員か非会員かを○で囲って下さい)

※申込者ご本人が会員ではなく、賛助会員所属の社員の場合は、非会員扱いとなります。

JSCA会員 / 非会員 / 学生 JSCA 建築構造士資格 有 無

フリガナ: _____

ご氏名: _____ (会員の方のみ) 会員番号: _____

ご住所: _____

ご所属: _____ 役職: _____

受講票送付先 E-Mail: _____

連絡先TEL: _____ 連絡先FAX: _____

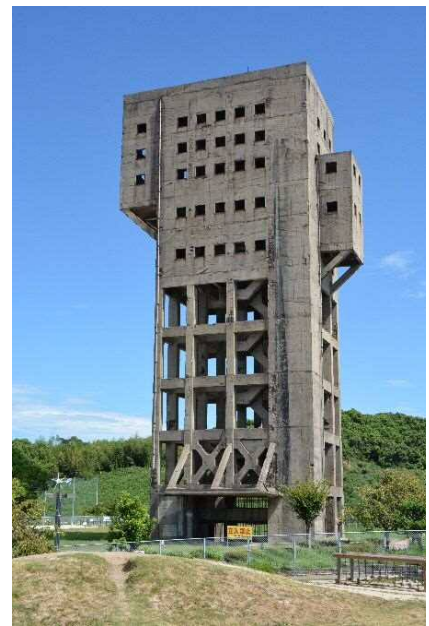
1. 本事業について

【文化財事業としての位置付け】 RC 造の重要文化財については既に複数の修理工事が行われている。その中でも本事業が意義深いのは、極度に劣化・損傷した建造物の根本的な補修が行われる初めての事例となるからである。志免竪坑櫓では、一般建築物でも生じ難い劣化・破損が発生しており、施工には困難が伴う。その上、対象が重要文化財であり、文化財修理の基本理念『当初の材料と技法を可能な限り残す』ことを実践しなければならない。文化財を残すことと補修および耐久性の確保は、相反する部分も多く、RC 造文化財については修理手法の定型が確立されていない。そうした中で、本工事は『極度に傷んだ RC 造の文化財をどのように補修するか?』について、先例となる工事である。

【これまでの経緯】 平成 26～27 年に調査工事(調査・補修検討)が、本工事の設計・監理者である、公益財団法人 文化財建造物保存技術協会によって行われた。その際、RC 躯体に関する調査や試験施工について協力を行った。平成 30 年 8 月、志免町の入札によって鉄建建設(株)が請負者に決定し、9 月に工事着手して現在に至る。

2. 工事概要

工事名称 : 重要文化財旧志免鋳業所竪坑櫓保存修理工事
 工期 : 2018 年 9 月～2020 年 10 月(事業 2018 年 2 月～2021 年 1 月)
 発注者 : 志免町
 設計監理 : 公益財団法人 文化財建造物保存技術協会
 施工 : 鉄建建設株式会社 九州支店
 事業費 : 志免町、国庫補助金、福岡県補助金にて支出



竪坑櫓の外観

3. 建物概要

所在地 : 福岡県糟屋郡志免町大字志免
 構造 : 鉄筋コンクリート造 地上 8 階 地下 1 階建 塔屋付
 竣工 : 1943(昭和 18)年 5 月 10 日
 建物規模 : 高さ 47.9m 桁行 15.3m 梁間 12.3m 建築面積 270.71 m²
 建設者 : 第四海軍燃料廠 (設計者 猪俣昇)
 文化財指定 : 2009(平成 21)年 12 月 8 日

4. 施工内容

下表に代表的な施工項目を示し、本工事特有の点を記載した。主要な施工について詳細を記載した。

【代表的な施工項目及び内容】

※試験施工継続中の内容もあり、変更となる場合があります。

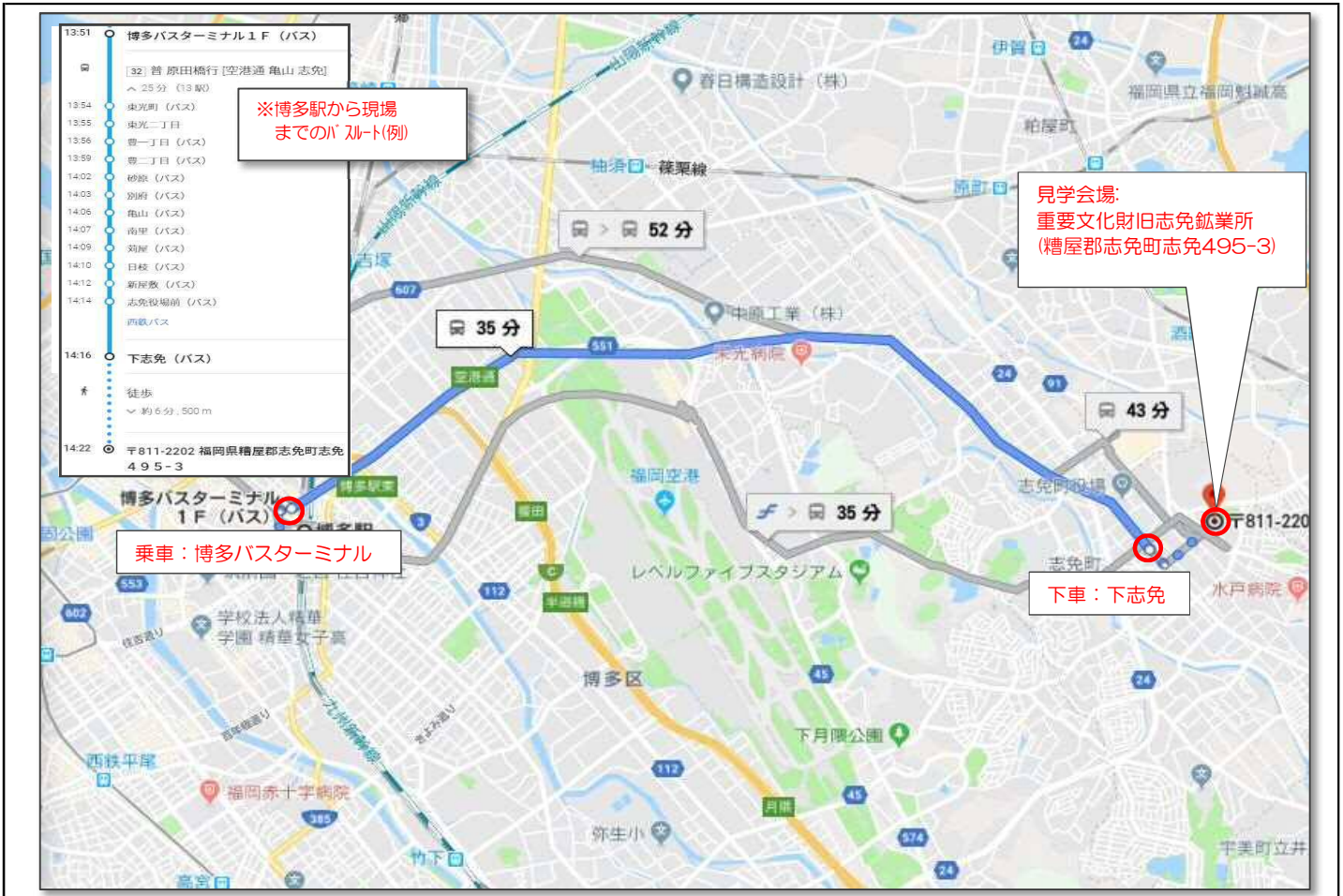
No	工法	仕様	施工内容※
①	ひび割れ補修	セメントスラリー 自動式低圧注入	跡が残りにくいシーラー材や下地処理材を選定。使用材料は太平洋スラリー。先行注入において、亜硝酸リチウム水溶液(太平洋 M)を注入する。
②	表面保護	リボン工法 (太平洋 M)	塗布による打放しコンクリートの耐久性向上 及び表面保護(疎水効果)。また、左官工法補修部の白華抑制。
③	左官工法	ポリマーセメントモルタル充填工法 (工場調色/太平洋 M)	工場調色した RF 厚付けモルタルを箇所毎に使い分ける。かぶり厚さ付加。既存面の表面状態に応じた鏝処理(木・刷毛)。色見本現場制作(21 種)。
④	圧入工法	無収縮グラウト材圧入工法	杉板せき板、特注金物(P コン跡が目立たない)、ミニコン(小径 P コン)、接着跡を極力残さないシーラー処理方法、注入ホース残置回避、モックアップ試験体作成、かぶり厚さ付加、既存面との段差処置。
⑤	鉄筋溶接	エンクローズ溶接 フレア溶接	鉄筋腐食度調査を実施後、腐食度が著しいものは切断して各種溶接を行う。 主筋は GE-A 工法(エンクローズ)を準用。せん断補強筋はフレア溶接。
⑥	モルタル剥離	モルタル塗替え	当初面に調和させ塗替える。細骨材は周辺河川から採取した川砂を粒度調整して使用。セメント:砂の調合比は数種類の見本を試作し決定した。
⑦	露出鋼材の防錆	錆転換材の塗布	外観を大きく変えずに、露出する鉄筋・鋼材を防錆処理する。 使用材料はサビキラー+水性 UV カットクリア。

見学会場：重要文化財旧志免鉱業所(糟屋郡志免町志免495-3)

※添付資料

日 程：2019年5月30日(木) 15:00~

交通手段：西鉄バス 路線名:原田橋行[空港通 亀山 志免] 乗車：博多バスターミナル 下車：下志免



全体地図



詳細地図